

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

|                            |  |
|----------------------------|--|
| 試料・情報の利用<br>目的及び利用方<br>法   | <p>●研究の名称<br/>甲状腺癌術後補助療法におけるI-131 内用療法の投与量<br/>集積消失率の解析</p> <p>●研究の対象<br/>遠隔転移のない甲状腺がんで、2014年12月～2020年<br/>1月に当院で放射性ヨウ素内用療法の治療を受けられた<br/>方 約160名</p> <p>●研究の目的<br/>甲状腺がん術後で遠隔転移のない場合に行われる放射性<br/>ヨウ素内用療法は、外来で行われる 1.11GBq(ギガベクレ<br/>ル)の投与量と、入院で行われる 3.70GBq の投与量では<br/>治療効果に差はないと考えられていましたが、近年では、<br/>術後補助療法目的で行われる場合は、3.70GBqの方が有<br/>効ではないかという可能性がでてきました。この研究で<br/>は、これらの治療を受けた患者さんのカルテデータから、<br/>どちらの投与量がより治療効果が高いかを明らかにする<br/>ことを目的とします。</p> <p>●研究の期間<br/>2019年6月から2029年2月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法<br/>この研究では外部へ情報を提供しません。</p> |
| 利用し、又は提供<br>する試料・情報の<br>項目 | <p>●研究に使用する情報：<br/>情報：病歴、治療歴、画像データ、副作用等の<br/>発生状況等<br/>血液検査のデータ</p>  |
| 利用する者の範<br>囲               | この研究では外部へ情報を提供せず、学内でのみ利用しま<br>す。   |

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

|  |  |
|--|--|
| <p>試料・情報の管理<br/>について責任を<br/>有する者の氏名<br/>又は名称</p>           | <p>●研究責任者<br/>浜松医科大学医学部放射線腫瘍学講座 小西憲太</p>   |
| <p>試料・情報の利用<br/>又は他の研究機<br/>関への提供の停<br/>止（受付方法含<br/>む）</p> | <p>あなたの情報を研究に使用することや、あなたの情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>   |
| <p>資料の入手また<br/>は閲覧</p>                                     | <p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p> |
| <p>情報の開示</p>   | <p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。</p>                                    |
| <p>問い合わせ先</p>  | <p>〒431-3192<br/>浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号<br/>浜松医科大学医学部附属病院<br/>診療科：放射線治療科<br/>担当者：小西憲太<br/>TEL：053-435-2665 FAX：053-435-2241<br/>E-mail：kkonishi@hama-med.ac.jp</p>                      |